

平成 28 年度 「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、平成 28 年度の助成研究対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下の通りです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議が務めました。

◆応募状況

平成 28 年 4 月 15 日～5 月 13 日の募集期間において、「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に、19 件の応募がありました。

◆選考委員会概要

開催日：平成 28 年 5 月 30 日（月） 15：00～16：30

神戸市勤労会館 307

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 11 名

（特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議企画委員）

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

◆選考結果

選考委員会において厳正な審査が行われ、その結果、19 件の応募のうち、今年度の助成対象として次表の 9 件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

（申請者氏名50音順）

申請者氏名	所属名	課題名
1 石井 健一郎	京都大学地球環境学堂 研究員	大阪湾底泥における珪藻類休眠期細胞の分布・発生とそれに基づいた有益・有害ブルーム識別評価
2 宇野 誠一	鹿児島大学水産学部 准教授	大阪湾底質の魚類胚に与える汚染影響リスク評価と今後の底質環境修復のための現状把握（その3）
3 大谷 壮介	大阪府立大学工業高等専門学校 准教授	大阪湾湾奥の河口域におけるウミナナの復活とその要因解析
4 小野寺 真一	広島大学大学院総合科学研究科 教授	大阪湾岸流域における下水道由来栄養塩負荷の影響評価（その3）－地下水流入および洪水時フラッシングを考慮した時空間変化の解析－
5 小林 志保	京都大学大学院農学研究科 助教	海色衛星観測データを用いた埋立地周辺を含む大阪湾における赤潮動態の解明（その2）
6 田中 周平	京都大学大学院地球環境学堂 准教授	大阪湾におけるマイクロプラスチック汚染の現況把握と魚介類への影響に関する研究（その2）
7 中尾 賢志	大阪市立環境科学研究所 研究員	大阪湾圏域の干潟におけるマイクロプラスチックの存在実態とその化学・生物学的影響
8 中谷 祐介	大阪大学大学院工学研究科 助教	大阪湾における残差流系の現況と埋立の影響に関する実証的研究
9 中村 清美	神戸市立須磨海浜水族園 学芸員	海洋生物の発する音を指標とした関西国際空港周辺での海域再生モニタリング